

V

市民学習・市民活動活性化事業の概要



高津市民館 市民自主学級「市民館で学ぶということは…」

V 市民学習・市民活動活性化事業の概要

地域課題や生活課題の解決に向け、市民が自分たちで企画提案し、教育文化会館・市民館・分館と「協働」で学びの場を創っていく市民自主学級・市民自主企画事業や、地域文化・芸術を創造していかうとする表現・舞台活動支援などの事業を幅広く展開した。

また、広く市民の活動や市民生涯学習グループのエンパワーメントに資するため、生涯学習的側面から支援していく各種事業を行った。

1 市民自主学級・市民自主企画事業

(1) 企画提案会

学級・事業を企画提案したグループ・個人、教育文化会館・市民館・分館の館長、各館運営審議会委員等を基本構成員として、次年度に実施する事業を民主的な協議により決定した。

(2) 市民自主学級

地域や社会の課題などの解決に向けた市民の学習の場づくりを、市民と行政の協働により行い、市民の主体的な生涯学習を支援した。市民が担い手になって市民同士の学び合いの場を創ることを通して、新しい公共性の確立及び自主的な市民学習グループの力量形成が図られた。

(3) 市民自主企画事業

地域の特性に応じた生涯学習・文化・芸術の振興や、市民の交流、市民活動ネットワーク化などに向けた多様な形態での学習事業を、市民と行政の協働により実施し、市民の主体的な生涯学習を支援した。市民が担い手になって市民同士の学び合いの場を創ることを通して、新しい公共性の確立及び自主的な市民学習グループの力量形成が図られた。

2 市民エンパワーメント事業

(1) 市民エンパワーメント研修

市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取り組むことができるように、市民主体の地域づくりを支援する学びを実施した。

(2) PTA 活動研修

子どもの健やかな成長を支える PTA 活動のため、各区でそれぞれの特性を活かしながら、これからの PTA 活動のあり方や可能性を考える研修を実施した。

(3) 生涯学習交流集会

市民主体の生涯学習・社会教育に向けて市民と職員が共に考える場として、「市民自主学級・市民自主企画事業」の報告を含めた発表交流会を多くの館で行い、これからの生涯学習について話し合った。

(4) 自主グループ講師派遣

主として生活課題に実践的に取り組もうとする自主学習グループに、専門的・技術的な講師の派遣を支援し、自主学習活動の活性化をめざした。

3 表現・舞台活動支援事業

様々な手法による市民の主体的で自由な表現活動を振興し、地域に根ざした市民の文化創造に資するため、教育文化会館、多摩市民館、麻生市民館の3館でそれぞれの特色を生かして実施した。

4 学習情報提供・学習相談事業

市民の学習と活動の支援策の一環として、様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し、公開・提供し、市民活動を支える市民相互援助システムづくりを図った。

V 1 (1) 企画提案会

教文 市民自主学級企画提案会

●日 時 2010 (平成 22) 年 2 月 27 日 (土) 13:30 ~ 16:00 ●会 場 教育文化会館

●基本構成員

教育文化会館館長 山崎 幸夫 教育文化会館大師分館館長 鍋谷 修
教育文化会館田島分館館長 庄司 亮 教育文化会館運営審議会委員 堀切 義昭、青木 恵美子

応募状況・決定内容		
長期学級	グループ提案 1 件	個人提案 1 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
個人提案	地域での生活課題の解決に取り組む	明日のためのスキルアップ
シネマコミュニケーション	映画の魅力と映画産業の振興について学ぶ	
短期学級	グループ提案 1 件	個人提案 1 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
見たい!知りたいたい! 川崎区企画運営委員会	川崎区の魅力知り、地域での生活に活かす	見たい!知りたいたい!川崎区
個人提案	思春期のコミュニケーション	思春期のコミュニケーション

教文 市民自主企画事業企画提案会 (1)

●日 時 2010 (平成 22) 年 2 月 27 日 (土) 13:30 ~ 16:00 ●会 場 教育文化会館

●基本構成員

教育文化会館館長 山崎 幸夫 教育文化会館大師分館館長 鍋谷 修
教育文化会館田島分館館長 庄司 亮 教育文化会館運営審議会委員 堀切 義昭、青木 恵美子

応募状況・決定内容		
	グループ提案 2 件	個人提案 1 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
らいこむ多文化教室	子どもが楽しめる母語・語学教室	子どもが楽しめる母語・語学教室 2010
ワールドキッズ	国際理解・食育	ワールドキッズ 2010
個人提案	子育て中の団体の連携による音楽事業	子育て楽団交流事業

教文 市民自主企画事業企画提案会 (2)

●日 時 2010 (平成 22) 年 7 月 31 日 (土) 11:00 ~ 12:00 ●会 場 教育文化会館

●基本構成員

教育文化会館館長 山崎 幸夫 教育文化会館大師分館館長 鍋谷 修
教育文化会館田島分館館長 庄司 亮 教育文化会館運営審議会委員 堀切 義昭、青木 恵美子

応募状況・決定内容			
	グループ提案 0 件	個人提案 0 件	館提案 1 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名	
館提案	日本語ビギナーを対象とした地域に根ざした教材の開発	日本語ビギナーのための教材開発	

大師 市民自主学級企画提案会 (1)

●日 時 2010 (平成 22) 年 2 月 27 日 (土) 9:30 ~ 10:30

●会 場 教育文化会館

●基本構成員

教育文化会館館長

山崎 幸夫

教育文化会館大師分館館長 鍋谷 修

教育文化会館運営審議会委員 堀切 義昭、青木 恵美子

応募状況・決定内容		
長期学級	グループ提案 1 件	個人提案 0 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
ミラクル☆ポケット	リラックス・ママになって、親子時間を充実させよう	「素敵☆親子時間」の提案Ⅱ

大師 市民自主企画事業企画提案会 (1)

●日 時 2010 (平成 22) 年 2 月 27 日 (土) 9:30 ~ 10:30

●会 場 教育文化会館

●基本構成員

教育文化会館館長

山崎 幸夫

教育文化会館大師分館館長 鍋谷 修

教育文化会館運営審議会委員 堀切 義昭、青木 恵美子

応募状況・決定内容		
	グループ提案 1 件	個人提案 0 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
館提案	「子どものたまり場」「おたのしみコンサート」「プラザ大師まつり」「シニア世代講座」他	プラザ大師市民自主企画事業

大師 市民自主学級企画提案会 (2)

●日 時 2010 (平成 22) 年 7 月 31 日 (土) 10:00 ~ 11:00

●会 場 教育文化会館

●基本構成員

教育文化会館館長

山崎 幸夫

教育文化会館大師分館館長 鍋谷 修

教育文化会館運営審議会委員 堀切 義昭、青木 恵美子

応募状況・決定内容		
短期学級	グループ提案 1 件	個人提案 0 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
大師フォトクラブ	写真を通して地域を結ぶ手法を学び考える	「写真は地域を結ぶ」

大師 市民自主企画事業企画提案会 (2)

●日 時 2010 (平成 22) 年 7 月 31 日 (土) 10:00 ~ 11:00

●会 場 教育文化会館

●基本構成員

教育文化会館館長

山崎 幸夫

教育文化会館大師分館館長 鍋谷 修

教育文化会館運営審議会委員 堀切 義昭、青木 恵美子

応募状況・決定内容		
	グループ提案 1 件	個人提案 0 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
アなピッタン	子育てに絵本の読み聞かせを取り入れる方法を学ぶ	「絵本で子育て」

田島 市民自主学級企画提案会

●日時 2010(平成22)年2月27日(土) 11:00～12:00

●会場 教育文化会館

●基本構成員

教育文化会館館長

山崎 幸夫

教育文化会館田島分館館長 庄司 亮

教育文化会館運営審議会委員 堀切 義明、青木 恵美子

応募状況・決定内容		
短期学級	グループ提案 2件	個人提案 1件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
ととけっこう	「子育て支援講座」	わくわくりズム
元気っ子クラブ	元気っ子クラブ(食育)	食育講座
遊友くらぶ「個人」	地域でコミュニケーション	遊友くらぶで楽しもう

田島 市民自主企画事業企画提案会

●日時 2010(平成22)年2月27日(土) 11:00～12:00

●会場 教育文化会館

●基本構成員

教育文化会館館長

山崎 幸夫

教育文化会館田島分館館長 庄司 亮

教育文化会館運営審議会委員 堀切 義明、青木 恵美子

応募状況・決定内容		
	グループ提案 1件	個人提案 0件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
プラザ田島市民自主企画実行委員会	子育て広場、講演会他	田島分館市民自主事業

幸 市民自主学級企画提案会

●日時 2010(平成22)年2月21日(日) 9:30～12:00

●会場 幸市民館

●基本構成員

幸市民館館長

豊岡 裕一郎

幸市民館日吉分館館長 長田 俊一

幸市民館運営審議会委員 志村 雄治、斉藤 敦子

応募状況・決定内容		
長期学級	グループ提案 1件	個人提案 0件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
おひさまクラブ	親と子の遊びの場・仲間作りの場	おひさまクラブ2010
短期学級	グループ提案 2件	個人提案 1件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
さいわい歴史同好会	幸区域における二ヶ領用水の歴史的検証	さいわい今昔 そのⅢ
個人提案	世代間の対話から自分を見つめる	対話のススメ ～世代間コミュニケーションを学ぼう!～

幸 市民自主企画事業企画提案会

●日 時 2010 (平成 22)年 2 月 21 日 (日) 13:30 ~ 17:00

●会 場 幸市民館

●基本構成員

幸市民館館長

豊岡 裕一郎

幸市民館日吉分館館長 長田 俊一

幸市民館運営審議会委員 志村 雄治、齊藤 敦子

応募状況・決定内容		
グループ提案 7件		個人提案 0件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
多文化フェスタさいわい実行委員会	多文化共生のまちづくりをすすめるフェスタ(お祭り)の開催	多文化フェスタさいわい 2010
おじさんクッキングサポーターズ	食べることの楽しさと大切さを、お父さんといっしょに学ぶ	腹ペコたんけんたい 2010
机上防災訓練研究会	幸区民の一層の防災対応意識の高揚をめざして	机上防災講座 Part IV
ふれコン企画運営委員会	市民による市民のための誰もが気軽に楽しめるコンサートの開催	さいわいふれあいコンサート 2010
幸えほんの会	初心者向け読み聞かせ講座	はじめての読み聞かせ講座
にほんごワールド	外国人市民との対話の夜明け	~多文化共生にむけて~ 伝えあおう!! あなたの思い
新川崎ふるさとづくりの会	楽しい、エコガーデニング~元気な植物をそだてよう~	ダンボールコンポストで堆肥をつくろう! ~楽しいエコガーデニング~

日吉 市民自主学級企画提案会

●日 時 2010 (平成 22)年 2 月 21 日 (日) 9:30 ~ 12:00

●会 場 幸市民館

●基本構成員

幸市民館館長

豊岡 裕一郎

幸市民館日吉分館館長 長田 俊一

幸市民館運営審議会委員 志村 雄治、齊藤 敦子

応募状況・決定内容		
グループ提案 1件		個人提案 0件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
矢上川で遊ぶ会	植物・魚等の観察・川遊びの安全指導や自然体験を通じた自然・環境保護の学習	川辺のナチュラルリスト入門 Part II

日吉 市民自主企画事業企画提案会

●日 時 2010 (平成 22)年 2 月 21 日 (日) 13:30 ~ 17:00

●会 場 幸市民館

●基本構成員

幸市民館館長

豊岡 裕一郎

幸市民館日吉分館館長 長田 俊一

幸市民館運営審議会委員 志村 雄治、齊藤 敦子

応募状況・決定内容		
グループ提案 3件		個人提案 0件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
子ねっと幸	子育て中の親子の憩いの場・地域の様々な情報提供・親子同士の交流等	子ねっと 子育て井戸端会議
自主保育 まんまる	子どもの遊ばせ方・見守り方の学習と防犯上の安全・安心な子育て環境の推進	地域で子どもを育てよう ~子どもを見守るってどういうこと?~
日吉分館事業市民実行委員会	市民の生涯学習・文化芸術振興・子育て支援の展開・事業を通じた地域の交流・まちづくりの人材発掘等	分館自主事業・さくらフェスタ日吉

中原 市民自主学級企画提案会

●日 時 2010 (平成 22) 年 2 月 27 日 (土) 9:30 ~ 11:30

●会 場 中原市民館

●基本構成員

中原市民館館長 植村 稔
 中原市民館運営審議会委員 金子 孝三、萩原 弘子、渡辺 敏夫
 中原区地域教育会議委員 竹井 斎、小神 長次

応募状況・決定内容		
長期学級	グループ提案 2件	個人提案 0件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
中原にプレイセンターを作る会	プレイセンター作りに向けた実践(遊びの広場)と親の学習会	プレイセンター「遊びの広場」
レインボーリング	子育てはのんびり ゆったり	子ども大好き 私も大好き ~ちょっと待つ子育てしてみませんか~
短期学級	グループ提案 4件	個人提案 0件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
なかはら水と緑の環境ネット	親子の環境学習	楽しい環境学習
グループほっとポポ	子育て中の親のためのストレスケア・日曜講座	子育てストレスケア
中原朗読会	朗読ボランティアになろう!	朗読ボランティアになろう!
パパ塾	地域 & 子育て & パパのネットワークを考える	パパ塾

中原 市民自主企画事業企画提案会

●日 時 2010 (平成 22) 年 2 月 27 日 (土) 13:30 ~ 16:00

●会 場 中原市民館

●基本構成員

中原市民館館長 植村 稔 中原市民館運営審議会委員 原 庚三、大下 由美子
 中原区地域教育会議委員 竹井 斎、小神 長次

応募状況・決定内容		
	グループ提案 6件	個人提案 1件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
せかいじん	外国人と日本人ボランティアの交流及び日本語学習支援	せかいじん
おりおん	子育てふれあいコンサート	子育てふれあいコンサート
川崎中原の空襲・戦災を記録する会	中原区における戦争体験を掘り起こし、整理記録し、伝えていく	川崎中原の空襲・戦災を語り継ぐ
中原ヒートアイランド学習会	区のヒートアイランド現象及び温暖化の基礎知識を学ぶ	ヒートアイランドに負けるな! PART II
食の安心・安全行動提起・実行グループ Uzumaki	子育てに役立つ食育セミナー & 料理実習	元気な子に育てよう! 食育セミナーと料理塾
NPO 法人コス援護会	「誰もが先生、誰もが生徒」になれる市民参加型多文化オープンキャンパス	中原みんなの夏期セミナー
個人提案	地域全体で障がい児や高齢者を支えるノーマライゼーションの地域づくり	ノーマライゼーションの世界を作ろう!

高津 市民自主学級企画提案会

●日 時 2010 (平成 22)年 2 月 20 日 (土) 10:00 ~ 12:00

●会 場 高津市民館

●基本構成員

高津市民館館長 昼間 豊

高津市民館運営審議会委員 鈴木 輝雄、渡辺 悦子

応募状況・決定内容		
長期学級	グループ提案 1 件	個人提案 0 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
川崎の社会教育を考える会	高津区のこれからの社会教育を考える	市民館で学ぶということは…
短期学級	グループ提案 5 件	個人提案 1 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
地域内の助け合いコミュニティ作りの勉強会	地域内の助け合いコミュニティ作りの勉強会	どうにかしよう無縁社会
高津歴史・文化研究会	もっと知ろう高津、もっと知りたい高津	高津の地名と川・街道を探る
To You	思春期 ナビ	思春期 ナビ
THE Art Project	絵本で多文化を!	読み聞かせ隊養成講座
個人提案	高津の風景づくりを学ぶ	高津の風景から学ぶ
高津エコ学び隊	これってほんとうにエコ!? ~食から考えよう~	これってほんとうにエコ!? ~食から考えよう~
館提案	高津学で地域の人材を発掘・活用しよう	

高津 市民自主企画事業企画提案会

●日 時 2010 (平成 22)年 2 月 20 日 (土) 13:30 ~ 16:00

●会 場 高津市民館

●基本構成員

高津市民館館長 昼間 豊

高津市民館運営審議会委員 鈴木 輝雄、渡辺 悦子

応募状況・決定内容		
	グループ提案 5 件	個人提案 0 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
ぶつくばる	赤ちゃんへの贈り物	赤ちゃんへの贈り物
情報発信プロジェクト編集委員会	市民発!生涯学習情報発信プロジェクト	市民発!生涯学習情報発信プロジェクト
かわさき自治基本条例フォーラム実行委員会	市民の参画力向上のために川崎市自治基本条例はどう生かされて来たか?	市民の参画力向上のために川崎市自治基本条例はどう生かされて来たか?
たかつサロン DE コンサート運営委員会	たかつサロン DE コンサート 2010・ホール DE コンサート 2010	たかつ・サロン DE コンサート 2010・ホール DE コンサート 2010
武蔵小杉ファミリーウィンドオーケストラ	0 歳からのコンサート	
館提案	地域・防災について学ぼうキャンプ	子ども探検隊

橘 市民自主学級企画提案会

●日 時 2010 (平成 22)年 2 月 21 日 (日) 13:30 ~ 16:30

●会 場 橘分館

●基本構成員

高津市民館橘分館館長 山田 貴夫

高津市民館運営審議会委員 小倉 敬子

応募状況・決定内容		
短期学級	グループ提案 4 件	個人提案 0 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
橘こども体験クラブ企画会	橘こども体験クラブ	橘こども体験クラブ
橘シニアの会	健康で心豊かなシニアライフを!	健康で心豊かなシニアライフを!
トゥインクルスター	発達障がいをみんなで考えよう!	発達障がいをみんなで考えよう!
写本橘	拡大写本を学ぶ	拡大写本を学ぶ

橘 市民自主企画事業企画提案会

●日 時 2010 (平成 22)年 2月 21日 (日) 13:30 ~ 16:30

●会 場 橘分館

●基本構成員

高津市民館橘分館館長 山田 貴夫

高津市民館運営審議会委員 小倉 敬子

応募状況・決定内容		
グループ提案 3件		個人提案 0件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
くれよん	ママ・カフェ	ママ・カフェ
読み聞かせボランティアグループ・どんぐり	読み聞かせ活動の充実のために	読み聞かせ活動の充実のために
市民自主企画事業実行委員会	たちばなコンサート 第12回プラザ橘まつり	たちばなコンサート 第12回プラザ橘まつり

宮前 市民自主学級企画提案会

●日 時 2010 (平成 22)年 2月 21日 (日) 10:00 ~ 12:00

●会 場 宮前市民館

●基本構成員

宮前市民館館長 岩瀬 正人

宮前市民館運営審議会委員 生駒 みを、中村 布佐子

応募状況・決定内容			
長期学級		グループ提案 2件	個人提案 0件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名	
発達障害コミュニティクローバー	療育は魔法の子育て術～発達障害の療育を通じて～	～つまずきのある子のやさしい子育て～ 「子育てコーティング」	
親子学級企画委員会「おひさま」	子どもに大切なこと、親に必要なことを学び地域で子育てを支えあう仲間を作る	宮前親子学級	
短期学級		グループ提案 2件	個人提案 1件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名	
1st サポーターズ宮前	発達障がい児他学校や家庭でつまずきのある子どもが社会人として自立するために、学齢期に身につける事とその支援方法を考える	発達障がいと特別支援教育2「つなげよう!つなごろう!苦手があっても大丈夫」	
個人提案	子どもに小刀やカッターの使い方とものづくりの学習	小刀を使って物づくり	
みやまえ文庫グループ	赤ちゃん～3歳頃までの間に人として育つのに大切なことは	子どもと絵本のはじめてであい～絵本を読み聞かせる その前に～	

宮前 市民自主企画事業企画提案会

●日 時 2010 (平成 22)年 2月 21日 (日) 14:00 ~ 16:00

●会 場 宮前市民館

●基本構成員

宮前市民館館長 岩瀬 正人

宮前市民館運営審議会委員 生駒 みを、山川 律子

市民自主企画・運営委員 篠澤 惺子

応募状況・決定内容			
グループ提案 5件		個人提案 0件	館提案 1件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名	
みやまえ農のあるまちづくり企画委員会	野菜直売所農家めぐりウォーキング学習/みやまえ「おいしいC級グルメ」づくり	輝け生命 地域の食(味)がまちをつくる	
みやまえ子育てフェスタ2010 企画委員会	乳幼児対象の子育てグループ、機関が一堂に会し子育て中の人とスタッフが交流する場を提供	みやまえ子育てフェスタ 2010	
風の泉	教育サポーターになろう	子どもの成長は、みんなが嬉しい～教育の共同性の再生～	
宮前江戸入門企画委員会	区内の古文書を中心に地域の歴史を学ぶ公開講演会	みやまえ江戸入門講座	
夏休み子ども遊びランド企画委員会	地域の遊びの達人と子どもとの交流	夏休み子ども遊びランド 2010	
館提案	区内の農を考える	区内の農を考える	

菅生 市民自主学級企画提案会

●日 時 2010 (平成 22)年 2 月 20 日 (土) 14:00 ~ 16:00 ●会 場 菅生分館

●基本構成員

宮前市民館館長 岩瀬 正人

宮前市民館運営審議会委員 生駒 みを、斉藤 光正

応募状況・決定内容		
長期学級	グループ提案 0 件	個人提案 1 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
個人提案	お母さんのためのライフアップ講座	お母さんのためのライフアップ講座
短期学級	グループ提案 1 件	個人提案 0 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
ぞうさん文庫	初めての絵本との出会い	子どもと絵本の素敵な出会いのために

菅生 市民自主企画事業企画提案会

●日 時 2010 (平成 22)年 2 月 20 日 (土) 14:00 ~ 16:00 ●会 場 菅生分館

●基本構成員

宮前市民館館長 岩瀬 正人

宮前市民館運営審議会委員 生駒 みを、斉藤 光正

応募状況・決定内容		
	グループ提案 3 件	個人提案 0 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
2010 菅生分館まつり 実行委員会	2010 菅生分館まつり	2010 菅生分館まつり
館提案	地域健康づくり活動推進事業	地域健康づくり活動推進事業
館提案	パパとママと赤ちゃんの広場	パパとママと赤ちゃんの広場

多摩 市民自主学級企画提案会 (1)

●日 時 2010 (平成 22)年 2 月 27 日 (土) 9:30 ~ 12:00

●会 場 多摩市民館

●基本構成員

多摩市民館館長

坂東 繁久

多摩ふれあいまつり実行委員長 石橋 吉章

多摩市民館運営審議会委員 北村 隆英、中田 香織

応募状況・決定内容		
長期学級	グループ提案 1 件	館提案 1 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
たまっこ	親子で!仲間で!一緒に育ち合おう!	たま親子学級
館提案	社会人の部活宣言!地域で放課後のクラブ活動を楽しもう!	社会人の部活宣言! 「チアダンス部を創部しました」
短期学級	グループ提案 1 件	
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
たま文化財ボランティアの会	親しもう身近な文化財	親しもう身近な文化財

多摩 市民自主企画事業企画提案会

●日 時 2010 (平成 22)年 2 月 27 日 (土) 13:30 ~ 16:00

●会 場 多摩市民館

●基本構成員

多摩市民館館長

坂東 繁久

多摩ふれあいまつり実行委員長 石橋 吉章

多摩市民館運営審議会委員 北村 隆英、中田 香織

応募状況・決定内容			
	グループ提案 1 件	個人提案 1 件	館提案 1 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名	
たまむっく	多摩区で生活する外国人市民とその支援者向けハンドブック作成のための調査	外国人市民向けハンドブック作成調査	
個人提案	自分たちの水道を知る		
館提案	生涯学習ライフ見本市	生涯学習ライフ見本市	

多摩 市民自主学級企画提案会 (2)

●日時 2010 (平成 22) 年 10 月 30 日 (土) 14:00 ~ 15:00

●会場 多摩市民館

●基本構成員

多摩市民館館長 夏井 美幸
多摩市民館運営審議会委員 古閑 道也、中田 香織

多摩ふれあいまつり実行委員 池畠 本枝

応募状況・決定内容		
短期学級	グループ提案 1 件	
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
たまの文化を総合企画してみる会	多摩川音頭のルーツを探る	多摩川音頭のルーツを探る

麻生 市民自主学級企画提案会

●日時 2010 (平成 22) 年 2 月 20 日 (土) 9:30 ~ 16:00

●会場 麻生市民館

●基本構成員

麻生市民館館長 小金井 武春
麻生区地域教育会議議長 松本 弘

麻生市民館運営審議会委員 岡野 幸夫
麻生区 PTA 協議会副会長 三上 由加利

応募状況・決定内容		
長期学級	グループ提案 1 件	個人提案 0 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
おやコミュニケーション	思春期のこどもにかかわる大人たちのための心の居場所	子どもとともに翔び立つ思春期
短期学級	グループ提案 2 件	個人提案 2 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
あさおメリーゴーランド	わらべ歌を親子で楽しむ	
麻生郷土研究会	麻生区の歴史・自然・民俗・生活環境を学ぶ	麻生に親しもう
個人提案	心が通じ合うコミュニケーション方法	コミュニケーション カフェ
個人提案	安全・安心なくらしの情報	暮らしの安全・安心を求めて

麻生 市民自主企画事業企画提案会

●日時 2010 (平成 22) 年 2 月 20 日 (土) 9:30 ~ 16:00

●会場 麻生市民館

●基本構成員

麻生市民館館長 小金井 武春
麻生区地域教育会議議長 松本 弘

麻生市民館運営審議会委員 岡野 幸夫
麻生区 PTA 協議会副会長 三上 由加利

応募状況・決定内容		
グループ提案 4 件		個人提案 1 件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
くらしと制度をつなぐ会	憲法学習 総論と条文の基礎学習	
婚活を考える会	婚活の理念と体験学習	
個人提案	Asao Fish Flag Project	Asao Fish Flag Project
あさおみどりのコンサート実行委員会	親子で楽しむコンサート	親子で楽しむコンサート
音楽ばれっと	知的障がい者のための音楽フリースペース	音楽ばれっと
国際子育てサークルファンキーマム & ファンキーキッズ	世界の貧困を無くすための開発援助についての講演会	世界の貧困を考える

岡上 市民自主学級企画提案会

●日時 2010(平成22)年2月27日(土) 10:00～12:00

●会場 岡上分館

●基本構成員

麻生市民館館長 小金井 武春
麻生区地域教育会議委員 神本 一枝

麻生市民館運営審議会委員 清水 正巳
麻生市民館岡上分館館長 小林 義仁

応募状況・決定内容		
長期学級	グループ提案 1件	個人提案 0件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名
岡上探険隊実行委員会	岡上を味わう(農産物・自然・行事)	岡上探険隊～あじわう～

岡上 市民自主企画事業企画提案会

●日時 2010(平成22)年2月27日(土) 10:00～12:00

●会場 岡上分館

●基本構成員

麻生市民館館長 小金井 武春
麻生区地域教育会議委員 神本 一枝

麻生市民館運営審議会委員 清水 正巳
麻生市民館岡上分館館長 小林 義仁

応募状況・決定内容			
	グループ提案 3件	個人提案 0件	館提案 1件
提案者	提案時の学習テーマ・事業内容	実施事業名	
古文書に親しみ、郷土岡上を語る会	岡上の古文書を岡上で読む	「岡上で地域学」郷土誌講座	
地場産料理体験実行委員会	岡上ふるさと料理体験	岡上地域における農業今昔物語	
岡上陶芸倶楽部	初めての陶芸を岡上で	初めての陶芸を岡上で	
館提案	発表・展示・交流のつどい	発表・展示・交流のつどい	

V 1 (2) 市民自主学級

教文 見たい!知りたいたい!川崎区

主 題：川崎区の産業、歴史を学び、環境保全の大切さを共に考える

●実施団体：見たい!知りたいたい!川崎区企画運営委員会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・14	水	新旧住民が川崎区の産業、歴史を共に学び、話し合い、地域への理解を深め、連帯感を高める。また環境保全に取り組む事業所を見学し、環境保全の大切さを認識し、今後の地域活動にどう反映できるかを考える	川崎区を見学する① 環境を配慮した生産、包装を学ぶ	花王株式会社川崎工場 社員
2	17	土		川崎区を知る① 川崎港～埋立開発からの産業振興	郷土史研究家 長島 保
3	9・8	水		川崎区を見学する② 排出物ゼロの仕組みを学ぶ	三栄レギュレーター(株) 社員
4	18	土		川崎区を知る② 二ヶ領用水の歴史、用水跡を散策	郷土史研究家 須山 邦夫
5	22	水		川崎区を見学する③ リサイクルの仕組みを学ぶ	昭和電工(株)川崎工場 社員
6	10・6	水		振り返り。環境について考え、地域活動の大切さを認識する	企画運営委員

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 主に 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 29人(男16人、女13人)

●延べ人数 98人

●企画委員会 9回

●企画委員 7人

教文 思春期の子どもとのコミュニケーション

主 題：思春期の子どもとのコミュニケーションのとり方を学ぶ

●実施団体：思春期の子どもとのコミュニケーション企画委員会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・17	日	思春期について理解する	思春期の心理について振り返り、子どもの気持ちを能動的に聴く方法を学ぶ	鶴見大学生涯学習センター 講師 富澤 優江
2	11・7	日	子との適切なコミュニケーション	子どもの話を能動的に聞きつつ、私メッセージで気持ちを伝える方法を学ぶ	
3	7	日	子どもと親の性格や考え方の違いを知る	エニアグラムにより子どもと親の性格や考え方の違い、子どもの視線に立つこと	
4	21	日	適切なコミュニケーションと問題解決	対等な人間としてお互いを尊重し、コミュニケーションと問題解決法を学ぶ	
5	21	日	学びを家族や地域でどう生かすのか	振り返り、家族や地域への応用や子どもからのメッセージの大切さについて学ぶ	

●開設場所 教育文化会館

●時間帯 主に 10:00～15:00

●対象 関心のある方

●参加者数 15人(男2人、女13人)

●延べ人数 60人

●企画委員会 6回

●企画委員 5人

教文 明日のためのスキルアップ

主 題：生活の悩み解決力をアップ!

●実施団体：スキルアップ企画委員会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・17	金	地域やまちづくりについて知る	地域活動とは、まちづくりとは何か	長野大学 教授 黒澤 惟昭
2	24	金	市民が取り組んできた、まちづくりに関する実践事例を学ぶ	実践事例① ～武蔵小杉駅前開発の事例を聞く	NPO法人 小杉駅周辺エリアマネジメント 代表 村山 十九男
3	10・1	金		実践事例② ～川崎駅前の自転車通行や駐車問題について考える	元川崎区PTA協議会 会長 秦 啄二
4	15	金		実践事例③ ～まちの縁側大師の活動事例を知る	まちの縁側大師 布川 昌子 他
5	22	金	思いを出し合い、それぞれの悩みのテーマを見つける	それぞれの悩みや思いを出し合い共有する	(有) 毎日の生活研究所 代表 矢郷 恵子
6	29	金		模擬委員会のテーマを決めよう	
7	11・12	金	地域と社会について学ぶ	裁判員制度について考える ～裁判傍聴(横浜地裁川崎支部)	企画運営委員
8	19	金	社会に「発信」する方法を学ぶ	模擬委員会について学ぼう	東京都市大学 講師 大海 篤子
9	12・3	金		模擬委員会を体験してみよう	
10	8	水	地域と社会について学ぶ	川崎市市議会本会議を傍聴する	企画運営委員
11	10	金	私たちの思いを社会に発信する	悩みのテーマやその解決方法を振り返り、今後に活かす	矢郷 恵子

●開設場所 教育文化会館 他

●対象 関心のある方

●企画委員会 5回

●保育内容 自由遊び

●時間帯 10:00～12:00

●参加者数 20人(男3人、女17人)

●企画委員 5人

●保育参加者数 4人(男1人、女3人)

●延べ人数 84人

●保育者 ポピンズ

大師 「素敵☆親子時間」の提案Ⅱ

主 題：リラックスママになって親子時間を充実させる

●実施団体：ミラクル☆ポケット

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・ 1	火	ストレス社会のリラックス方法のひとつであるヨガで身体をリラックスさせる方法を学び、講座では負担に思いがちな子育ての心のリラックスを学ぶ。小学校に入ると親子の時間が少なくなるが、短い時間でもコミュニケーションをとるヒントを学ぶ。市民館を会場とすることで普段交流のない他学区のお母さんともコミュニケーションをとり、地域での子育てを考える	オリエンテーション・自己紹介 子どもと作れるフェルトの名札	企画運営委員 職員
2	22	火		家事の合間に短い時間でできるリラックス方法を学ぶ(3・4回の講座に向けて)	ジャパンマタニティフィットネス協会 インストラクター 片山 礼子
3	7・ 6	火		自分を見失わない子育てのヒント	幸クリニック 臨床心理士 稲富 正治
4	9・ 7	火		「いじめ」って?	ジャーナリスト 青木 悦
5	28	火		今の子どものストレスを考える 子どもとできるストレス解消法を学ぶ	片山 礼子
6	10・ 5	火		子どもの声を聞く(振り返り) 子どもとできるストレス解消法を学ぶ	
7	19	火		子どもとのコミュニケーション作り 簡単おやつでお手強い	調理師 伊藤 紀子
8	11・ 2	火		ストレス社会でのリラックスの大切さを学ぶ 家族・子育て仲間のできるリラックス方法	片山 礼子
9	16	火		ハーブでリラックス 子どもにやさしいアロマとその効果を学ぶ	(社)日本アロマ環境協会 アロマセラピーインストラクター 矢口 由子
10	30	火		実習の振り返り 子どもと大人のストレス解消効果を学ぶ	片山 礼子
11	12・ 14	火		子どもとのコミュニケーション作り 季節のイベントを家族団らんのヒントにする	伊藤 紀子
12	1・ 18	火		講座のまとめ おたのしみミニ講座	企画運営委員 職員

●開設場所 大師分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 小学校低学年の子を持つ母親

●参加者数 20人(男0人、女20人)

●延べ人数 185人

●企画委員会 2回

●企画委員 5人

大師 写真は地域を結ぶ

主 題：老人ホーム等で写真を通して地域を紹介する

●実施団体：大師フォトクラブ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・ 25	木	単にキレイに写す写真の技術だけでなく地域の活動をより身近に感じてもらえるような報道的写真の技術を学び、実際に協力してくれる施設を探し、写真を展示するボランティア活動のための仲間づくりを行う	オリエンテーション 伝える技術Ⅰ(題名・キャプションのヒント)	企画運営委員 (株)オープン 高橋 誠一
2	12・ 2	木		その場の空気は伝えられる? (報道的写真の大切な視点って?)	能動ドットコム 代表 森田 正明
3	9	木		誰に届ける?何を届ける?どこに届ける?	企画運営委員 職員
4	16	木		空気感は伝わった?(写真を通して)	森田 正明
5	1・ 13	木		伝える技術(“思い”は伝わった?)	高橋 誠一
6	20	木		学級のまとめと今後の話し合い	企画運営委員 職員

●開設場所 大師分館

●時間帯 13:30～15:30

●対象 市内在住・在勤・在学

●参加者数 14人(男3人、女11人)

●延べ人数 50人

●企画委員会 3回

●企画委員 9人

田島 「元気っ子クラブ (食育)」

主 題：作って・食べて・おいしいね

●実施団体：元気っ子クラブ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・13	月	日頃から家族と共に栄養バランスのとれた食事をとる事が、子どもの心身の向上や安定につながり、健康的な家庭生活を送るために必要であることを学び、それを家庭や地域に発信する。	講座の目的、内容、スケジュールの説明 親子間のコミュニケーションの重要性 参加者との交流	職員 企画委員
2	10・4	月	また地域における育児困難世帯への支援のあり方についても話し合う	幼児の食事マナーとして大切なこと 米の栄養について	管理栄養士 田邊 弘子
3	11・1	月		野菜の旬の力を学び、野菜嫌いを克服できる調理法を考える	
4	12・6	月		行事食などの伝統料理の栄養学的役割と食事作法を含む文化的意義を学ぶ	
5	1・10	月		各年齢期での栄養補充と正しい食習慣を育む「おやつ」について学ぶ	
6	2・7	月		参加者各自の子育て環境を話し合い、良薬としての食事を学ぶ	田邊 弘子 企画委員

●開設場所 田島分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 完了食に入った未就園児と親

●参加者数 23人(男5人 女18人)

●延べ人数 57人

●企画委員会 3回

●企画委員 5人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 3人(男3人、女0人)

●保育者 2人

田島 子育て支援講座

タイトル：～わくわくリズム～

主 題：地域から考える貧困問題

●実施団体：ととけっこう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・29	火	地域で孤立しがちな子育て中の親を支援するため本講座を実施、悩みを地域全体で支え合う子育て環境を強化する	オリエンテーション 自己紹介	音楽表現遊びインストラクター 三橋 典子 職員
2	7・13	火		受講者同士の話し合いを通じて、子育てに関する不安を共有する	
3	27	火			
4	9・14	火		講座前半を振り返り、悩み解決の糸口を見つけていく	
5	28	火			
6	10・12	火		各自の子育て環境を話し合い、地域・親・公的機関の役割を考える	
7	16	土			
8	30	土		評価・反省	職員

●開設場所 田島分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 未就園児と親

●参加者数 61人(男11人、女50人)

●延べ人数 61人

●企画委員会 3回

●企画委員 5人

田島 地域でコミュニケーション

主 題：異世代間交流

●実施団体：遊友クラブ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・26	月	オリエンテーション 自己紹介	オリエンテーション・自己紹介 昔の暮らしについて	江戸東京博物館 学芸員 石山 秀和 田島分館サークル連絡会会員
2	27	火	さまざまなプログラム を通じて世代間の交 流を図る	挨拶・自己紹介 プログラム説明・調理実習	川崎区役所地域振興課 職員 田島分館サークル連絡会会員
3	28	水		挨拶・自己紹介 施設見学(大森のり資料館)	東京都大田区大森のり資料館 職員
4	30	金		挨拶・自己紹介 川崎宿のお話し・奈良茶めし作り	管理栄養士 田邊 弘子 田島分館サークル連絡会会員
5	31	土		挨拶・自己紹介 実習(六郷とんび凧作り)	六郷とんび凧保存会 会長 吉田 恒夫 田島分館サークル連絡会会員
6	8・1	日		挨拶・自己紹介 文化鑑賞	永吉 久一朗 鹿庭 悦子 横澤 晃作
7	2	月		評価・反省	反省会・懇親会 ～地域の先輩と話そう～
8	10・23	土	地域の事業を知る	地域の事業に参加 プラザ田島「サークル祭」に参加しよう	

●開設場所 田島分館 他

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 小学生以上と大人

●参加者数 20人(男5人、女15人)

●延べ人数 99人

●企画委員会 3回

●企画委員 5人

幸 さいわい今昔

主 題：そのⅢ 二ヶ領用水編

●実施団体：さいわい歴史同好会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・8	土	「二ヶ領用水」400年 に際して、さいわい区 域の二ヶ領用水の現 況を探り、その遺産を 継承・保存の機構を 構築していくために、 先人の遺徳を学ぶ	二ヶ領用水 概説	400年事業実行委員 須山 邦夫
2	6・12	土		小泉次太夫について(1)(2)	郷土史研究者 石田 勝俊
3	7・10	土		特別企画：御幸地区の親子歴史探検	郷土史研究者 大橋 金造 企画委員
4	8・7	土		田中休愚について(1)(2)	郷土史研究者 今井 久善
5	14	土		さいわい区域の用水について	大橋 金造
6	9・25	土		さいわい区域の二ヶ領用水の今	石田 勝俊 企画委員
7	11・13	土			
8	12・11	土			

●開設場所 幸市民館 他

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 37人(男26人、女11人)

●延べ人数 255人

●企画委員会 4回

●企画委員 5人

幸 対話のススメ

主 題：世代間コミュニケーションを学ぼう！

●実施団体：「対話を楽しむ」企画運営委員会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・9	土	お互いが相手の人権を尊重し合う“対話力”を学び、対話の楽しさに気づくことで、他者とのコミュニケーション、とりわけ、世代間のコミュニケーションに対する苦手意識を克服し、家庭や職場、地域におけるコミュニケーション不足の解消を図る	オリエンテーション	企画運営委員
				対話の一步～出会いを楽しむ～	元企業内コミュニティ世話人 須賀 亨
2	23	土		嘶家から学ぶ対話のヒント	アマチュア落語家 竹廻家 寿々女
3	11・6	土		対話を楽しもう①	IT 関連企業勤務 石川 敦子
4	20	土		対話を楽しもう②	川崎幸クリニック 臨床心理士 稲富 正治
5	12・4	土		対話を楽しむための10か条を考えてみよう 学級をふりかえって	企画運営委員

●開設場所 幸市民館

●時間帯 13:30～15:30

●対象 15歳以上の関心のある方

●参加者数 16人(男4人、女12人)

●延べ人数 56人

●企画委員会 14回

●企画委員 5人

幸 おひさまクラブ2010

主 題：同年齢の子どもを持つ保護者と子の学びの場

●実施団体：おひさまクラブ2010

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・16	木	川崎駅周辺の開発や大型マンション建設に伴い、新しい住人が増えている。地域とのつながりが希薄で、不安や悩みをかかえながら、日中、ひとりで子育てしている親たちに講座を通して地域でつながり育ちあうことの大切さを伝える	オリエンテーション・自己紹介	企画運営委員
2	30	木		子どもの気持ちに寄り添って	元川崎市立公立保育園 園長 田母神 良子
3	10・7	木		読み聞かせの世界を知る	おはなしかご 城内 三枝子
4	14	木		子どもの体と心の発達	臨床心理士 氷室 綾
5	21	木		遊びの中で育まれるもの	プレーパークむさしの プレーリーダー 嶋村 仁志
6	23	土		子どもたちの遊びを考える 子ども夢パークに遊びに行こう	企画運営委員
7	28	木		理想の子どもと現実の子ども	教育ジャーナリスト 青木 悦
8	11・4	木		私を振り返ってみる	
9	11	木		私の気持ちの伝えかた	ワーカーズコレクティブ ハートランド とがみ さちこ
10	18	木		児童室の子どもたちの様子と成長	幸保育学習会 企画運営委員
11	25	木		ボディパーカッション 体を使った表現方法を学ぶ	NPO法人 ボディパーカッション協会 牛草 超子 他1人
12	12・2	木		楽しく料理を作ろう 先輩の話を聞く	おひさまクラブ OB 吉成 安淑
13	9	木		学級の振り返りとまとめ	企画運営委員

●開設場所 幸市民館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 当該年度中に3歳になる幼児と親

●参加者数 37人(男14人、女23人)

●延べ人数 221人

●企画委員会 8回

●企画委員 7人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 23人(男7人、女16人)

●保育者 幸保育学習会

日吉 川辺のナチュラルリスト入門 Part II

主 題：見て・触って・体験して環境保全の大切さを知る

●実施団体：矢上川で遊ぶ会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	4・10	土	座学及び鶴見川・矢上川流域の自然のふれあい体験学習を通して生きものの生態を学び、環境保護への理解を深める	矢上川の野草観察会と天ぷらづくり	鶴見川流域ネットワーク 阿部 裕治
2	5・1	土		ミクリわんどのクリーンアップとうなぎ観察会	矢上川で遊ぶ会
3	6・27	日		矢上川のクリーンアップと水のアクティビティについて	
4	7・10	土		ミクリわんどのクリーンアップと生きもの観察	
5	26	日		矢上川生きもの調査	鶴見川流域ネットワーク 小林 範和 中原 優人

●開設場所 矢上川流域ほか

●時間帯 10:00～12:30

●対象 区内在住・在勤の方

●参加者数 40人(男16人、女24人)

●延べ人数 144人

●企画委員会 5回

●企画委員 7人

中原 子育てストレスケア

主 題：少し心・体が疲れている大人…パパママこそ元気とエネルギーを！

●実施団体：ほっとポポ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・3	日	子育て環境が十分ではない現代、様々な困難に見舞われ疲れがたまる親にこそケアが必要である。つらさを吐き出す場を設け、親自身が自己ケアを行えるようなヒントを学び、お互いの心の交流をもつ	オリエンテーション・顔合わせ まずは心を軽くするワークを！	企画運営委員
2	17	日		アサーショントレーニング① コミュニケーション術で周りによりよい関係を！	アサーション川崎くじらの会 心理カウンセラー 石坂 俊子 増井 幸子
3	31	日		アサーショントレーニング② コミュニケーション術で周りによりよい関係を！	
4	11・14	日		認知行動療法 とらえ方、行動・対応が変われば、きっと関係も変わる！	臨床心理士・女子栄養大学 講師 松本 美江子
5	21	日		親子のケア・セルフケア 子どもと笑顔で向き合えるように	NPO 法人 FCS 認定心理 カウンセラー 平井 智子

●開設場所 中原市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 23人(男2人、女21人)

●延べ人数 64人

●企画委員会 6回

●企画委員 13人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 11人(男6人、女5人)

●保育者 高津市民館登録保育ボランティア他

中原 プレイセンター「遊びの広場」

主 題：家族と一緒に成長する

●実施団体：中原にプレイセンターを作る会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・ 2	木	「家族と一緒に成長する」を理念としたプレイセンター活動を通じて、親には学習会を設けることで、子育てに自信が付き、子どもには自由遊びの中で、子ども自身が成長する力を引き出す。また、自立して活動するための準備期間として、本場ニュージーランドのスーパーバイザーのワークショップを開いたり、ファシリテーター講座を開き、参加者の意識を高める学びをした	プレイセンターの理念とその実践	淑徳短期大学 講師 佐藤 純子
2	9	木		幼児教育について考える	企画委員
3	10・ 14	木		プレイセンターの遊び・プレイセンター「ピカソ」の実践より	プレイセンター協会・スーパーバイザー 足立 隆子 石川 あき子
4	25	月		ハロウィンを楽しもう！仮装して遊ぶ	企画委員
5	28	木		幼児救命救急法 いざという時、あわてないために	中原消防署 職員
6	11・ 11	木		子連れでオーストリア留学、海外の子育て事情	企画委員
7	25	木		本の読み聞かせについて	
8	12・ 6	月		お菓子のお家作り & クリスマス会	
9	9	木		多文化共生・多文化育児	NPO 法人 KFV 崔 慎鐘
10	1・ 13	木		ニュージーランドのプレイセンターについて学ぶ	NZ オークランド・プレイセンター 加奈・パーウォーリ
11	17	月		国分寺市、プレイセンター「ピカソ」を見学	企画委員
12	24	月		身体を動かして遊ぼう！	体育インストラクター 神谷 厚子
13	2・ 3	木		よりよい自主活動のために①	企画委員
14	24	木		食育を考えたお弁当づくり	料理研究家 米井 智子
15	3・ 7	月		お楽しみコンサート	遊笑楽団 やまばん
16	10	木		よりよい自主活動のために② ～ファシリテーター講座	ERIC 国際理解教育センター 角田 尚子

●開設場所 中原市民館 他

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 乳幼児を持つ親と子ども

●参加者数 28人(男1人、女27人)

●延べ人数 188人

●企画委員会 16回

●企画委員 8人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 16人(男10人、女6人)

●保 育 者 ぽかぽか

中原 子ども大好き 私も大好き～ちょっと待つ子育てしてみませんか～

主 題：親として“初心者同士”が共感しあひありのままの子ども・自分・家族を見つめる

●実施団体：レインボーリング

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・17	金	知り合うためのきっかけ作り	皆さんこんにちは たのしい保育	保育ボランティアグループ にじの会
2	10・1	金	受講者同士を知る	これからよろしく！～自己紹介～	企画運営委員
3	8	金	子どもの気質を学ぶ	子どもの心に寄り添って	りんごの木主宰 柴田 愛子
4	15	金		2～3歳児の自我の発達 ～子どもの気質を知る～	神奈川県中学校スクールカ ウンセラー 滝本 祥子
5	22	金		保育のつどい	にじの会
6	29	金	食育	ママの手作りクッキング	料理研究家 米井 智子
7	11・6	土	我が家の子育て・社 会について考える	パパも一緒に	NPO 法人 フリースペース たまは理事長 西野 博之
8	12	金		しつけと虐待はどう違うの？	子どもの虐待防止センター 青木 郁美
9	19	金		家族で暮らすということ	里親 坂本 洋子
10	27	土	自分について考える	いまの私	とよたまこころの診療所 ソーシャルワーカー 辻野 恵子
11	12・3	金	まとめ	学習を振り返って	企画運営委員
12	10	金	まとめ&今後のネット ワーク作り	みんなでお楽しみ会	企画運営委員 にじの会

●開設場所 中原市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 2～3歳児を持つ親

●参加者数 26人(男7人、女19人)

●延べ人数 179人

●企画委員会 6回

●企画委員 11人

●保育内容 自由遊び・散歩他

●保育参加者数 15人(男9人、女6人)

●保 育 者 にじの会

中原 朗読ボランティアになろう！

主 題：地域で活動する朗読ボランティアを養成する

●実施団体：中原朗読会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・1	金	地域の施設等で活動 する朗読ボランティア を養成することで、ボ ランティア活動を通じ た異世代間交流や、 市民の生きがいづく り、市民が支えあう 地域づくりに寄与する	オリエンテーション(講座の概要を説明) 腹式呼吸・発声の実習	フリーアナウンサー 神野 文子
2	8	金		前回の復習・短文の読み練習	
3	15	金		短文の読み方の指導・発表 講師による朗読	
4	11・29	金	ボランティアの活動紹介 短文の朗読指導	ボランティアの活動紹介 短文の朗読指導	朗読指導者 南 純子
5	5	金		短文の朗読指導・朗読ボランティアになる為の今 後の話し合い	

●開設場所 中原市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 25人(男2人、女23人)

●延べ人数 117人

●企画委員会 4回

●企画委員 11人

中原 楽しい環境学習

主 題：親子でともに地域の環境問題を楽しみながら学んでみよう

●実施団体：なかはら水と緑の環境ネット

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・12	土	多摩川の水底生物と水の透明度は？	多摩川・等々力の魚ラン川で生物の採取と観察	地球環境科学博士 小林 貞
2	7・24	土	樹木観察と炭酸ガス吸収量を調べよう	井田山で自分の木（マイツリー）を選び特長を観察し炭酸ガス吸収量を考える	企画運営委員
3	8・7	土	夢見ヶ崎動物公園での飼育と環境とは	動物に触れ合いながら飼育担当職員の話聞きバックヤードを見学する	夢見ヶ崎動物公園 飼育係長 河尻 陸彦
4	9・25	土	干潟にはどんな生物がいるの？	多摩川・大師河原干潟の生物の観察	日本自然保護協会 自然観察 指導員 佐川 麻理子
5	10・30	土	木の実工作で楽しもう	緑地や井田山で採取したどんぐりや枯葉を使って木の実工作を楽しむ	木の実工作推進委員 町井 敏子
6	11・20	土	化石を発見してみよう	和泉多摩川の河川敷で化石採集と地層の観察	企画運営委員
7	12・18	土	植物観察と交流会	井田山で樹木観察と落ち葉ラッセル～市民健康の森を守る会と楽しい交流会	井田山・市民健康の森を守る会
8	1・22	土	緑地と池の野鳥を調べよう	等々力緑地と釣り池にいる野鳥の観察	日本野鳥の会 石井 一与
9	2・5	土	くらしと自然のまとめ	水や緑についての観察や活動をしてきたことからのまとめ・ワークショップ	企画運営委員

●開設場所 中原市民館 他 ●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 小学1年生以上（小学3年生以下は親子で参加）

●参加者数 40人（男23人、女17人） ●延べ人数 158人

●企画委員会 9回 ●企画委員 13人

中原 パパ塾

主 題：地域&子育て&パパのネットワークを考える

●実施団体：パパ塾

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・10	土	ワークライフ・バランスを学び、父親の子育て参加を促し、地域のパパネットワークを作りを目指す	ワークライフ・バランスを考えよう	NPO法人 ファザーリング ジャパン 理事 東 孝司
2	8・7	土		折紙名人に学ぶ～伝統遊びの中にある数学的センス	職員
3	9・11	土		パパも食育について考えよう	食育指導士・野菜ソムリエ 小磯 ふき子
4	10・16	土		子どもと外で遊んでいますか？秋遠足川崎ゆめパークで遊ぼう！	日本冒険遊び場づくり協会 理事 嶋村 仁志
5	11・13	土		手作り楽器で親子でコミュニケーション	NPO法人 えほんのうた・ あそびうた 代表理事 西村 直人
6	12・12	日		校外学習 消防署見学	中原消防署 職員

●開設場所 中原市民館 他 ●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 乳幼児を持つ父親とその家族 ●参加者数 30人（男22人、女8人） ●延べ人数 225人

●企画委員会 5回 ●企画委員 5人

●保育内容 自由遊び ●保育参加者数 7人（男4人、女3人）

●保 育 者 高津市民館登録ボランティア

高津 市民館で学ぶということは～社会教育で明日を拓く～

主 題：市民が身近に感じる事のできる「社会教育」について考える

●実施団体：川崎の社会教育を考える会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・8	火	公民館の役割について学ぶ	16 ミリ映画上映と解説 市民館（公民館）ってなんだろう？	元幸市民館 館長 小林 雄介
2	26	土	川崎市の社会教育施設について学ぶ1	川崎の社会教育施設をめぐる① ふれあい館（桜本）見学と交流	川崎市ふれあい館 職員
3	7・3	土	戦跡「旧陸軍登戸研究所」見学	市民館事業「平和教育学級」から存在が明らかになった戦跡「旧陸軍登戸研究所」見学	明治大学 講師 渡辺 賢二
4	9・25	土	川崎市の社会教育施設について学ぶ2	川崎の社会教育施設をめぐる② ～民家園・岡本太郎美術館 見学	社会教育施設 学芸員
5	10・16	土	川崎市の社会教育の現場で、職員や市民が築いてきたものを振り返り、講師たちの現在の活動から見えてくる川崎市の社会教育のこれからの展望について考える	【公開講座】 リレートーク 川崎の社会教育の明日を私はこう考える！～地域で活動が続ける中で見えてきたこと～	第1次川崎の社会教育を考える会 十文字 美恵 元おやじの会「いたか」 大下 勝巳 元市民館職員 岡本 剛介
6	11・20	土		『川崎市社会教育50年史』から見えてくる川崎の社会教育の明日とは	魚沼市中央公民館 館長 (元教育文化会館 館長) 星野 修美
7	12・4	土		館長たちが語る「これからの川崎の社会教育について」	幸市民館 館長 豊岡 裕一郎 高津市民館 館長 昼間 豊 多摩市民館 館長 夏井 美幸
8	1・8	土	学習権としての社会教育、全国・他都市の動向から見える未来の川崎の社会教育のあるべき姿とは	憲法、教育基本法から社会教育を学ぶ	千葉大学 教授 長澤 成次
9	3・5	土	これからの私たちの学び・川崎で、これから何を学んで、どう生きる？	社会教育推進全国協議会 委員長 上田 幸夫	

●開設場所 高津市民館 他

●時間帯 主に10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 27人(男18人、女9人)

●延べ人数 84人

●企画委員会 5回

●企画委員 10人

高津 思春期ナビ

主 題：思春期の子の言動に悩む保護者間の横のつながりを構築する

●実施団体：TO YOU

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・26	日	思春期の特徴を理解し、その対処法を学ぶ。参加者と関係機関同士の横の繋がりを構築する	思春期を生きる子どもたち	NPO 法人 フリースペース たまりば 理事長 西野 博之
2	10・8	金		思春期の子どもの関わり方 親と子のコミュニケーション	白梅学園大学 教授 長谷川 俊雄
3	22	金		子ども・若者たちのこころの声 ～J・POPに寄せて～	
4	11・18	木		親子関係について考える	企画運営委員
5	28	日		バウンダリーワーク 「私」と「子ども」を大切に「境界」	長谷川 俊雄

●開設場所 高津市民館

●時間帯 主に10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 33人(男0人、女33人)

●延べ人数 124人

●企画委員会 10回

●企画委員 17人

高津 これってほんとうにエコ!? ～食から考えよう～

主 題：「食」をテーマに身近な環境問題について考える

●実施団体：高津エコ学び隊

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・ 1	金		地産地消と環境（フードマイレージ）について学ぶ	NPO 法人 アクト川崎 副理事長 庄司 佳子
2	15	金	市内・区内の農家や企業の環境に対する取り組みや、地産地消の仕組みについて	高津区の農家訪問（地産地消への取組・生ゴミリサイクルなど）	農家 加藤 勉
3	22	金	実地見学や講義を通して知識を得ることに	手軽に環境に優しい料理方法を学ぶ（エコ、楽しい菜、クッキング1）	グリーンコンシューマーグループ
4	29	金	より、地域において自ら課題に気づき、学ぶ市民を育てる	手軽に環境に優しい料理方法を学ぶ（エコ、楽しい菜、クッキング2）	
5	11・ 19	金		今までの学習の振り返りとまとめ	庄司 佳子
6	22	月		施設見学・味の素川崎工場（企業の環境問題への取り組みについて知る）	施設職員

●開設場所 高津市民館 他

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 26人（男4人、女22人）

●延べ人数 86人

●企画委員会 4回

●企画委員 5人

高津 高津の風景から学ぶ

主 題：高津区内の身近な風景からまちづくりを考える

●実施団体：高津風景研究会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・ 7	木	景観まちづくりを考える	各都市の景観まちづくりの実態を学ぶ講義	武蔵野美術大学 教授 吉田 慎悟
2	16	土	風景を見る視点を学ぶ	まちの風景を撮影しまちづくりに必要なものは何かを考える	企画委員
3	21	木			
4	11・ 4	木	風景の見方、考え方を 出し合う	持ち寄った写真をもとにカルテを作成して景観を どのようにしたら良くなるかを考える	石塚デザイン事務所 千葉 晋也
5	18	木			企画委員
6	12・ 2	木	川崎市のまちづくりを 聴く	これからのまちづくりについて、川崎市の担当職 員から学ぶ講義	川崎市まちづくり局 景観・まちづくり支援課 担当部長 和田 忠也

●開設場所 高津市民館 他

●時 間 帯 主に18:30～20:30

●対 象 区内在住、在勤、在学の方

●参加者数 18人（男10人、女8人）

●延べ人数 68人

●企画委員会 4回

●企画委員 7人

高津 読み聞かせ隊 養成講座

主 題：絵本の世界から、多文化共生を考える

●実施団体：The Art Project

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・9	土	講座を知る	自己紹介・オリエンテーション	スペイン語読み聞かせ講師 佐藤 レヒナ
2	11・20	土	外国の絵本を知る	外国の絵本を紹介し海外の文化を学ぶ	中国語読み聞かせ講師 鍾 美貞 西ヶ谷 千恵 佐藤 レヒナ
3	12・4	土	多文化共生を知る	多文化共生社会の実態を読み聞かせの方法から考える	実践女子大学 准教授 小林 卓 韓国語読み聞かせ講師 金 東姫 むらかみ のりこ 佐藤 レヒナ
4	1・15	土	実際の活動を知る	実際に活動している講師から、実演方法を学ぶ	絵本翻訳家 野坂 悦子
5	29	土	実際に読み企画を立てる	今まで講座で学んだことを実践するとともに、読み聞かせ会の企画を立てる	英語読み聞かせ講師 片倉 美保 佐藤 レヒナ

●開設場所 高津市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 読み聞かせに興味のある方

●参加者数 29人(男0人、女29人)

●延べ人数 80人

●企画委員会 4回

●企画委員 6人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 2人(男2人、女0人)

●保 育 者 高津市民館登録ボランティア

高津 どうにかしよう無縁社会

主 題：地域のつながりづくりから無縁社会をなくしていくよう考える

●実施団体：地域のコミュニティづくりの研究会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・29	土	お互いを知る 地域の人と人をつなぐ	障がいを持つ子どもたちと地域をつなぐ『チャレンジドミュージカル』について学ぶ	劇作家・演出家 NPO 法人 いちかわ市民文化ネットワーク 代表 吉原 廣
2	2・26	土	地域の人と人をつなぐ	「地域密着型インターンシップ」について学び、多様なつながり作りの可能性を考える	専修大学 教授 池本 正純
3	3・5	土		伝統文化により地域交流を進める例と地域交流カフェ「b-cafe 麦」の活動について学ぶ	かわさき伝統文化を残す会 代表 大畑 かおる 企画委員・NPO 法人 ぐるーぷ麦代表 吉田 歌子
4	12	土	無縁社会をなくす糸口とは	さまざまな人々と地域をつなぐ方法を考え、無縁社会の解決の糸口を探る *震災のため中止	社会福祉士・介護相談支援 専門員 江良 泰成

●開設場所 高津市民館 他

●時 間 帯 14:00～16:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 15人(男8人、女7人)

●延べ人数 28人

●企画委員会 6回

●企画委員 7人

高津 高津の地名と川・街道を知る

主 題：高津の史跡や文化財見学とマップ作成による地域の活性化 ●実施団体：高津歴史・文化研究会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・7	火	郷土史研究者による講義、現地見学及びマップ作りを通して高津区内の平瀬川流域、大山街道、橋樹郡街推定地などを学ぶ機会とし、歴史や文化遺産の保護を尊重するまちづくりと地域活性化に貢献する	オリエンテーション 平瀬川について	平瀬川街づくり協議会 松井 隆一
2	21	火		現地見学 平瀬川の源流を訪ねる	郷土史研究者 對馬 醇一
3	10・5	火		講座 歴史の変遷と共に姿を変えた街道、今後この街道をどう活かすのか？ホントに歩く大山街道	郷土史研究者 中平 龍二郎
4	19	火		現地見学 大山街道を江戸へ	
5	11・2	火		講座 地域の文化を学び、文化財保護の重要性を考える～橋樹郡街と影向寺	郷土史研究者 村田 文夫
6	16	火		現地見学 橋樹神社・橋樹郡街と影向寺	
7	12・7	火		現地見学 旧東海道川崎宿	郷土史研究者 渡辺 修策 他1名
8	1・11	火		作業 コースマップ作り	企画委員
9	25	火		作業 コースマップ作り まとめ 学習成果を振り返り、これからのまちづくりに向けた課題の確認	

●開設場所 高津市民館

●時間帯 13:30～16:00

●対象 関心のある人

●参加者数 27人(男18人、女9人)

●延べ人数 198人

●企画委員会 6回

●企画委員 9人

橋 拡大写本を学ぶ

主 題：弱視の子どもたちが地域の学校で学べる拡大教科書を作る

●実施団体：写本橋

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・28	火	国連障害者の権利条約はインクルーシブ教育(統合教育)を掲げる。弱視者が直面する課題や拡大写本の知識を習得し地域で生活を支え合う活動に繋がる学習機会を作る	自己紹介、講座について 弱視とは、拡大写本とは	ルーペの会 会長 横山 サチ子
2	10・5	火		カタカナの書き方	
3	12	火		数字の書き方	
4	26	火		教科書の拡大写本の注意点	
5	11・2	火		製本の仕方 ふりかえり、今後の活動に向けて	

●開設場所 橋分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 14人(男0人、女14人)

●延べ人数 55人

●企画委員会 5回

●企画委員 6人

橘 「発達障がい」をみんなで考えよう!

主 題：大切な個性をもつ子どもたちとのコミュニケーション

●実施団体：トゥインクルスター

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・14	金	発達障がいの基礎の理解、保育園や小学校など現場での対応と取り組み、日常生活でのコミュニケーションの3つを柱として、発達障がいのある子どもたちが直面する課題についての知識を習得し、地域において生活を支え合う活動につながる学習の機会を作る	オリエンテーション、自己紹介 発達障がいについて知る①	企画運営委員 西部地域療育センター 参事 武居 光
2	21	金		発達障がいについて知る②	
3	28	金		公立保育園の取り組みから考える	川崎市立子母口保育園 園長 信開 芳美 他
4	2・4	金		小学校特別支援級の取り組みから考える	久末小学校特別支援級 教諭 大和田 好夫
5	18	金		フラワーセラピー(花育)から考える	NPO法人 日本メンタルフ ローラルアドバイザー 川村 さおり
6	25	金		コミュニケーションするために①	NPO法人 教育フロンティア・アトムの会 高久 修 企画運営委員
7	3・4	金		コミュニケーションするために② ふりかえり	

●開設場所 橘分館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 19人(男0人、女19人)

●延べ人数 118人

●企画委員会 24回

●企画委員 6人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 9人(男2人、女7人)

●保 育 者 ナルク川崎

橘 橘こども体験クラブ

主 題：多様な体験を通じた学区を越えた仲間づくりと地域とのふれあい

●実施団体：橘こども体験クラブ企画会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など	
1	7・3	土	橘地域の異なる学校・学年の子が地域で出会い、先輩の中・高校生や大人のスタッフと共に、様々な経験を体験を通して仲間を作り、自分で考え行動できるよう学び深める機会を作る	自己紹介 レクゲーム(橘公園)	レクリーダー	
2	17	土		料理 ①アジをさばく ②お弁当(ハンバーグ、そぼろ、サラダ) 名札づくり		
3	24	土		工作 ①ボンド絵描き ②タイルづくり ③紙コップ剣玉 レクゲーム		
4	8・21	土		キャンプ(横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター)鉄板焼き、花火大会		
5	28	土		お菓子づくり ①ミルクレープ ②びっくり玉		
6	9・11 12	土日		遠足(昭和記念公園) ①ふわふわドーム、②虹のハンモック		
7	10・23	土		クリスマス会 レクゲーム大会		
8	30	土		遠足(夢見ヶ崎動物公園)		夢見ヶ崎動物公園 飼育係長 河尻 陸彦
9	11・20	土		遠足(東京臨海広域防災公園)		レクリーダー
10	12・12	日		さよなら宿泊会(青少年の家)		
11	1・16	日				
12	2・13	日				
13	3・26 27	土日				

●開設場所 橘分館 他

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 小学校2～6年生

●参加者数 58人(男37人、女21人)

●延べ人数 469人

●企画委員会 10回

●企画委員 5人

橘 健康で心豊かなシニアライフを！パートⅡ

主 題：老化予防・認知症予防で仲間と楽しいシニアライフを目指す

●実施団体：橘シニアの会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・17	金	シニア世代が、健康維持や地域の課題解決のための知識を習得し、さらに地域活動に向けた仲間づくりの大切さを学び、地域における健康で心豊かな生活を支え合う活動につながる学習の機会を作る	オリエンテーション、自己紹介、話合い	企画運営委員
2	10・1	金		シニアの輪を広げる ～仲間づくりの大切さとその方法	フォーラム・ネクスト 代表 井上 忠志
3	15	金		鎌倉シニアガイドの実践に学ぶ ～北条氏ゆかりの地・鎌倉巡り	NPO 法人 鎌倉ガイド協会 松本 隆
4	29	金		歌って元気になりましょう～童謡・唱歌から歌謡曲まで仲間と一体感	元ポリドールレコード 専属作曲家 信楽 順三
5	11・12	金		【公開講座】気になる生活課題 最近のお葬式事業について	NPO 法人 お葬式情報案内 センター 事務局長 千葉 新也
6	19	金		地域公園体操で元気な毎日 ～転倒予防を主体とした筋トレ体操	高津区役所保健福祉センター 地域包括支援センターひさすえ
7	12・3	金		【公開講座】気になる生活課題 知っておきたい薬の知識	川崎市薬剤師会 副会長 中村 良夫
8	17	金		【公開講座】橘地区の地形から防災を考える防災 (地震)の備え、その時の対応	企画運営委員
9	1・21	金		シニアによる地域活動のススメ～振り返り	井上 忠志

●開設場所 橘分館 他

●時間帯 主に 13:30～15:30

●対象 概ね 60 歳以上の方

●参加者数 34 人(男 4 人、女 30 人)

●延べ人数 352 人

●企画委員会 8 回

●企画委員 8 人

宮前 発達障がいと特別支援教育 2

主 題：分野ごとに分断されている支援をどうつなげていくかを考える

●実施団体：1st サポーターズ宮前

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・7	木	心と体をつなぐ～感覚統合について～	感覚統合についての知識を得る	北部地域療育センター 作業療法士 小松 伸子
2	21	木	家族を繋ぐ～親子・兄弟姉妹の関係	安定した人間関係を築く際の基本である家庭について考える	川崎市発達相談支援センター 武居 光
3	11・4	木	授業と家庭学習をつなぐ	学習や SST の具体的な例を学ぶ 過程学習を楽しくするポイントを考える	東京学芸大学 非常勤講師・ 特別支援療育士 小林 玄
4	12	金	スタディースキルについて	教科学習の前に学んでおきたいことを知る	LD 発達相談センターかながわ 所長 安住 ゆう子
5	19	金	家庭と学校をつなぐ	巡回指導員について学ぶ 川崎市の事例を学ぶ	川崎市巡回相談員 井手 よし子
6	25	木	教育と福祉と行政をつなぐ	各機関の連携について現状を学び、将来への展望を考える	宮崎台小学校 校長 平井 弥三郎 市民・こども局こども福祉課 課長 吉川 勉 学校教育部指導課 担当課長 上杉 忠司
7	12・2	木	義務教育と後期中等教育をつなぐ	就労にいたるまでの川崎市の教育について学ぶ	特別支援教育センター 吉田 宴

●開設場所 宮前市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 39 人(男 3 人、女 36 人)

●延べ人数 159 人

●企画委員会 12 回

●企画委員 9 人

宮前 子どもと絵本のはじめてのであい

主 題：絵本を読み聞かせるその前に

●実施団体：みやまえ・文庫グループ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・ 2	火	人を育てる唄① 人と向き合う	遠野の子育てを通して赤ちゃんへの呼びかけや会話の大切さを学ぶ	まめっこママサロン 主宰 神谷 ひろ子
2	9	火	人を育てる唄② 人に負けない・自分に負けない	遠野のはやし唄やあそび唄を通して、人としての基本や人とのつながりを作る知恵を学ぶ	
3	16	火	どの本をよもうかな？ ①	あかちゃん絵本を手取る前に、知っておきたいことを学ぶ	子どもの本アドバイザー 向井 惇子
4	30	火	どの本をよもうかな？ ②	子どもが初めて出会う絵本を選ぶ時のポイントを知る	
5	12・ 7	火	文庫から見た子どもと本との出会い	子どもが本と出会い、読書へと成長していく話を文庫での実例を聞いて学ぶ	三月文庫 主宰 伊藤 千代子
6	14	火	交流会	受講者同士の交流やこれまでのふりかえりをする	神谷 ひろ子

●開設場所 宮前市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 乳幼児のご家族と妊婦の方、および関心のある方

●参加者数 34人(男0人、女34人) ●延べ人数 150人

●企画委員会 11回

●企画委員 12人

宮前 市民自主学級「小刀を使いこなして物づくり」

主 題：物づくりを通して刃物を扱うことの理解と世代間交流を図る

●実施団体：小刀を使いこなして物づくり企画委員会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・ 10	土	自己紹介と学級の趣旨説明 身近な刃物の知識と使い方を学ぶ	オリエンテーション(学級のすすめ方) 刃物の知識と用途に合った正しい使い方 切れない刃物ほど危ない	ウッドクラフトクラブ 代表 鈴木 敬一郎 川崎マイスター 刃物研ぎ・ 鋸目立て 石井 一夫
2	24	土	地域活動の実地研修 親同士の交流を知る	市民ミュージアム「おやじ de ミュージアム」見学 ～グループで手作り体験と昔遊び	かわさきおやじ連 企画委員
3	31	土		竹細工に挑戦	企画委員 助言者 ウッドクラフトクラブ
4	8・ 7	土	刃物を扱うスキルを身につける	竹細工の仕上げ	
5	28	土		木工事に挑戦	
6	9・ 11	土	地域活動のすすめ 体験発表とまとめ	私のボランティア体験について 「宮前区菅生緑地での活動」「子どもの安全安心を考える」 もの作りの達人と木工技術見学を通し交流～講座の振り返りと感想発表	

●開設場所 宮前市民館

●時 間 帯 13:30～15:30

●対 象 宮前区在住・在勤の父・母世代と小学生以上の子ども

●参加者数 35人(男24人、女11人) ●延べ人数 157人

●企画委員会 5回

●企画委員 8人

宮前 宮前親子学級

主 題：いっしょに育とう！親と子、それぞれの学びの場

●実施団体：宮前親子学級企画委員会「おひさま」

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・ 9	木	オリエンテーション	ようこそ！親子学級へ	保育者 企画運営委員
2	16	木	子どもの自ら育つ力を知る	仲間になろうよ	子育てアドバイザー 大田 京子
3	23	木		映画『アリサ』観賞	企画運営委員
4	30	木		子どもの発達に遊びが大切なワケ	帝京大学 教授 杉本 真理子
5	10・ 7	木		お母さん応援団～母子を見つめて17年～	NPO 法人 ままとんきっず 理事長 有北 いくこ
6	14	木		保育室から	子どもたちの様子（ビデオ）
7	21	木	前半の振り返り	話し合い	企画運営委員
8	28	木	お母さんも楽しもう	子どもと絵本との幸せな出会い ～まず、自分自身が体験してみよう！～	横浜市山内図書館 司書 おしぬま子ども文庫運営スタッフ 秋元 澄子
9	11・ 4	木	私の居場所をつくる	気持ちは「ことば」をさがしている	子育て・育児者支援グループ わたぼうし 山田 悦子
10	11	木		気がつけば地域ライフ	(有) 毎日の生活研究所 乳幼児外遊び「KOPA」 代表 矢郷 恵子
11	18	木		正しいお母さんを頑張らないで	NPO 法人 フリースペース たまりば 理事長 西野 博之
12	25	木	学習のまとめ	子どもたちの様子（ビデオ）	保育者
13	12・ 2	木		つながっていく大切さ	山田 悦子
14	9	木		調理実習と文集作り	栄養士 小泉 由美子 企画運営委員
15	16	木		話そう！これからのこと	企画運営委員

●開設場所 宮前市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 平成19年4月2日～平成21年4月1日生まれの第1子を持つ親と子

●参加者数 18人(男0人、女18人)

●延べ人数 244人

●企画委員会 15回

●企画委員 16人

●保育内容 保育室での成長を促す自由遊び

●保育参加者数 18人(男11人、女7人)

●保 育 者 個人協力者

宮前 「子育てコーティング」

主 題：～つまずきのある子のやさしい子育て～

●実施団体：発達障害コミュニティークローバー

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・31	月	子どもと向き合おう	自己紹介・コーティングってなに？	特別支援教育ファシリテーター 柳下 記子
2	2・14	月		親子の信頼関係を作るためのスキル～傾聴～	
3	18	金	子どもと受け入れよう	親子の信頼関係を作るためのスキル～承認～	
4	28	月	考える子へと導く	子どもへの質問方法のスキル～誘導～	
5	3・7	月	実践に向けて	課題の振り返りと実践につなげよう	

- 開設場所 宮前市民館
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 3歳～小学生までの発達障がい及び心配のある子の保護者
- 参加者数 18人(男0人、女18人)
- 延べ人数 52人
- 企画委員会 5回
- 企画委員 8人

菅生 女性のためのライフアップ講座

主 題：ともに生きる仲間の重要性と心地よい地域を考える

●実施団体：女性のためのライフアップ講座実行委員会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・30	木	受講者同士の関係づくり	自己紹介と関係づくりのワークを通して受講者同士の距離を縮める	NPO法人 心の笑顔サポートセンター 石橋 由美子
2	10・7	木	他者との関わりで自分らしさを知る	自分自身を知り客観的に見れるようになってから人間関係を築くことを考えてみる	福知 薫 五十嵐 淑子
3	14	木	豊かな人間関係を築くために	相手の立場になる体験からお互いを尊重するコミュニケーションを考える	塚田 寛子 吉田 恵美子
4	19	火	ありのままの自分を好きになる	自分の嫌いなところ、ダメな部分をどのようにして受け入れていいのかを考える	ルポライター 自己尊重トレーナー 北村 年子
5	28	木	心地よい人間関係を考える	お互いが心地よい関係はどういうことかを考え地域の人間関係の繋がりを考える	職員
6	11・4	木	ライフプランニングという考え方を考える	ライフプランという考え方を学び地域でどのような暮らしをしていくかを考える	ファイナンシャルプランナー 畠中 雅子
7	11	木	地域での暮らしを考える	地域での暮らしを具体的にイメージしながら仲間のネットワークづくりを考える	ファイナンシャルプランナー 當舎 緑
8	18	木	もっと自分の身体に関心をもつ	年齢に伴い変化する「女性の身体」を知りその予防法、対処法を学び健康の維持を考える	産婦人科医師 星野 寛美
9	25	木	仲間との心地よい時間	先輩ママの経験談から仲間と関わりながら過ごす時間の心地よさを知る	薬剤師 久保田 泉
10	12・2	木	仲間のいる地域づくりを考える	全体をふり返りながら仲間と一緒に生きていく心地よい地域づくりを考える	職員

- 開設場所 菅生分館
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 関心のある方
- 参加者数 27人(男0人、女27人)
- 延べ人数 199人
- 企画委員会 8回
- 企画委員 5人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 10人(男2人、女8人)
- 保 育 者 登録ボランティア

菅生 子どもと絵本の素敵な出会いのために

主 題：絵本について学び地域の子どもへの活動に繋げる

●実施団体：子どもと絵本の素敵な出会いのために企画委員会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・14	金	地域で文庫を運営している現状を知る	地域で活動している図書ボランティアの方から地域活動についての話しを聞く	企画委員(ぞうさん文庫)職員
2	21	金	あかちゃんにとっての絵本とは	親が抱っこしてお話をしてあげることの大切さを学ぶ	子どもの本アドバイザー 向井 惇子
3	28	金	子どもに出会ってほしい絵本	初めての出会いにふさわしい絵本を知る	
4	2・4	金	わらべ唄を知る	遠い昔から伝承されてきたわらべ唄の意義を学ぶ	元保育士 神谷 ひろ子
5	18	金	わらべ唄を味わう	わらべ唄にこめられているメッセージを感じとり味わう	
6	25	金	文庫での子どもと本の出会い	地域の文庫で絵本を通して成長していく子どものお話しから地域活動を考える	「三月文庫」主宰 伊藤 千代子

●開設場所 菅生分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 乳幼児の保護者、妊婦の方

●参加者数 13人(男0人、女13人)

●延べ人数 61人

●企画委員会 4回

●企画委員 6人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 13人(男8人、女5人)

●保育者 登録ボランティア

多摩 親しもう身近な文化財

主 題：文化財を通して地域を知り、地域参加の足がかりを作る機会とする

●実施団体：たま文化財ボランティアの会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	8・27	金	地域における文化財の存在意義をあらためて認識する機会とともに、文化財の継承や保護に向けて地域で何が出来るかを検討・共有する機会を提供することにより、文化財の継承や保護に対するモチベーションを高め、参加者を核とした文化財の保護・継承に結びつけていくことを目的とする	学級の意義 お神楽ってなあ～に	横浜市歴史博物館 学芸員 小林 紀子 企画運営委員
2	9・5	日		お神楽を楽しむ①(自由参加)	企画運営委員
3	17	金		古城址を学ぶ	横浜市文化財審議委員 斉藤 彦司
4	19	日		お神楽を楽しむ②(自由参加)	企画運営委員
5	24	金		多摩区の遺跡を学ぶ	市民ミュージアム 学芸員 新井 悟
6	10・1	金		多摩区の遺跡めぐり	企画運営委員
7	29	金		二ヶ領用水沿いの産業を学ぶ	郷土史研究家 角田 益信
8	11・5	金		二ヶ領用水(新川)を歩く	企画運営委員
9	19	金		文化財建造物について①	横浜国立大学 准教授 大野 敏
10	26	金		文化財建造物について②	
11	12・3	金		まとめ	企画運営委員

●開設場所 多摩市民館 他

●時間帯 主に10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 29人(男18人、女11人)

●延べ人数 198人

●企画委員会 9回

●企画委員 15人

多摩 社会人の部活宣言～チアダンス部を創部しました～

主 題：チアダンスで地域を元気に！

●実施団体：社会人の部活宣言企画実行委員会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・11	土	学級参加者同士の交流を深めチアダンスの理念を学ぶ	自己紹介 オリエンテーション なぜ、市民館でチアダンスをやるのか	ダンスインストラクター 米川 美和子 職員
2	25	土	地域活動について 地域交流に向けて①	参加者同士で地域活動について話し合う 基礎練習	
3	10・2	土	地域活動を知る① 地域交流に向けて②	地域教育会議「舞ハートTAMA」の活動について 振り付け①	舞ハートTAMA 米川 美和子 職員
4	16	土	地域活動を知る② 地域交流に向けて③	多摩区文化協会の活動について	多摩区文化協会 担当者 米川 美和子
5	23	土	地域交流に向けて④	振り付け② ～次回の活動について	
6	11・6	土	地域交流①	地域の高校等と一緒にレッスンをすることで、 地域交流を図る	
7	13	土	地域交流に向けて⑤	振り付け③ ～次回の活動について	米川 美和子 職員
8	20	土	地域交流②	地域の福祉施設や障がい者施設等を訪問して、 発表と交流を図る	
9	27	土	発表会に向けて	多摩市民館「ちっちゃい演劇フェスティバル」出 演に向け最終確認を行なう	
10	12・5	日	学習成果の発表	「ちっちゃい演劇フェスティバル」出演	
11	11	土	まとめ	振り返り～今後の地域活動に向けて	職員

●開設場所 多摩市民館 他

●時 間 帯 15:00～17:00

●対 象 関心のある社会人の方

●参加者数 16人(男0人、女16人)

●延べ人数 125人

●企画委員会 3回

●企画委員 6人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 3人(男2人、女1人)

●保 育 者 多摩保育グループ

多摩 多摩川音頭のルーツを探る

主 題：多摩川音頭を題材に郷土の歴史・文化を学ぶ

●実施団体：多摩の文化を総合企画してみる会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・11	金	北原白秋作詞の「多摩川音頭」を題材に、	「多摩川音頭」の誕生の由来、北原白秋と稲田 村青年団との関係を学ぶ	郷土史研究家 角田 益信
2	18	金	地域の自然、歴史文化を学び、創作された当時の地域の青年団の村おこしへの思い	「多摩川音頭」の歌詞の意味や踊りの振りの持つ 意味を学び、踊り方も学ぶ	舞踊家 花柳 京寿美
3	25	金	を振り返り、地域でのコミュニケーション、 社会参加を促進する	「多摩川音頭」の歌詞にある地域を学び丸山教 境内の白秋の碑を見学する	角田 益信
4	3・4	金		「多摩川音頭」の歌詞の書の作品について、作風 や書の基本について学ぶ	書家 福島 霞葉
5	25	金		「多摩川音頭」の歌詞に沿って、枳形山まで歩き、 昭和4年当時との違いを学ぶ	角田 益信

●開設場所 多摩市民館 他

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 37人(男17人、女20人)

●延べ人数 136人

●企画委員会 4回

●企画委員 5人

多摩 たま親♥子学級

主 題：親子で！仲間で！一緒に育ち合おう！

●実施団体：たま親子グループ たまっこ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・17	金	学習参加者同士の交流を深める①	自己紹介 オリエンテーション	多摩保育グループ 企画運営委員
2	24	金	音楽をとおして、交流を深める	歌や踊りでコミュニケーションを図る	元玉川大学 講師 小宮路 敏
3	10・1	金	子どもとの向き合い方を学ぶ	2・3歳児の心理状況の理解と対処法を知る	りんごの木 主宰 柴田 愛子
4	8	金	学習参加者同士の交流を深める②	子どもと一緒に工作や読み書かせを楽しむ	企画運営委員
5	15	金	安全な水について学ぶ	安全な水を作る環境の仕組みを学び水道水をおいしく飲む方法を知る	ジャーナリスト 橋本 淳司
6	22	金	自分自身を見つめなおす	コーチングの手法で子育ての悩みを解決する	Happy Mommy プロデューサー 山崎 洋美
7	24	日	父親の学級参加を促し、家族交流を深める①	みんなで運動会を楽しむ	企画運営委員
8	29	金	子どもの救命救急について学ぶ	誤飲、誤嚥の処置 けがの応急手当	多摩応急手当普及会 美野 健司
9	11・5	金	子育て世代の経済について学ぶ	子育てに関わる具体的なマネープランを学ぶ	ファイナンシャルプランナー 中尾 由紀
10	12	金	学習参加者同士の交流を深める③	子育ての情報交換をする	企画運営委員
11	21	日	父親の学級参加を促し、家族交流を深める②	親子で体操し子どもとの遊び方を学ぶ	日本体育協会公認体操上級指導員 神谷 厚子
12	26	金	子どもの食について学ぶ	好き嫌いの解消法について学び子どもと作れる簡単な野菜料理を作る	西宿河原保育園 栄養士 高嶋 悦子
13	12・3	金	学級のまとめ	仲間と一緒に学級を振り返る	企画運営委員 多摩保育グループ

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 区内在住2・3歳の子どもと保護者

●参加者数 23人(男8人、女15人)

●延べ人数 155人

●企画委員会 14回

●企画委員 8人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 15人(男7人、女8人)

●保育者 多摩保育グループ

麻生 麻生に親しもう

主 題：麻生を知る機会を提供し今後の地域活動への参加を支援する

●実施団体：麻生郷土研究会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・29	火	地域麻生を知る機会を提供することを通して個々の参加者の今後の地域活動への具体的なイメージ獲得を支援し活動参加を促すことを目的に実施する	地域を知り地域の課題を知る 麻生郷の本郷を探る	麻生区観光協会 会長 小島 一也 企画運営委員
2	7・6	火		文化・芸術のまちづくり 麻生区の文化活動	川崎市文化財団 副理事長 北條 秀衛
3	8・24	火		麻生区と義経伝説①	麻生区観光協会 理事 松本 良樹
4	9・7	火		麻生区と義経伝説②	
5	21	火		麻生区の営農	アグリやまかけ 長谷川 瑞英
6	10・5	火		麻生区の福祉について	麻生区役所 高齢者支援課 課長補佐 清水 宏
7	12	火		地域学習・片平と社寺	修廣寺 住職 菅原 節生
8	11・2	火		中世・江戸期の麻生区	市民ミュージアム 学芸員 望月 一樹
9	16	火		地域学習・川崎北部市場見学 他	川崎市中央卸売市場北部市場 職員
10	12・14	火		明治期の麻生区の歴史 今後の地域活動について考える	麻生区文化協会 副会長 千坂 隆男 企画運営委員

●開設場所 麻生市民館 他

●時 間 帯 14:00～16:00

●対 象 区内在住、在勤者

●参加者数 41人(男22人、女19人)

●延べ人数 340人

●企画委員会 3回

●企画委員 9人

麻生 コミュニケーション・カフェ

主 題：心が通じ合うコミュニケーションのヒントを学ぶ

●実施団体：コミュニケーション・カフェ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	8・22	日	様々なコミュニケーションの仕方を体験・学習し、地域に住む人のコミュニケーションの質が高まり、お互いに協力し合う関係を築くことができるようになる	信頼づくり/SK法	企画運営委員
2	9・19	日		傾聴と認知の体験	
3	10・17	日		多様なコミュニケーション/インプロ体験	
4	11・28	日		感情の伝達/コラージュ作成	
5	12・19	日		自分らしさ/ダイアローグ	
6	1・16	日		コーチング	コネクティングコーチ 大八木 智子 コア・クリエーションズ代表 大江 亜紀香 産業カウンセラー 長谷川 理恵子 米国CTI認定 プロフェッショナルコーチ 笹田 裕彦 都留 沢美 松村 賢一 矢島 久美

●開設場所 麻生市民館

●時 間 帯 13:30～15:30

●対 象 関心のある方

●参加者数 20人(男8人、女12人)

●延べ人数 68人

●企画委員会 8回

●企画委員 5人

麻生 子どもとともに跳び立つ思春期

主 題：思春期の特徴を知り、語り合える居場所づくり

●実施団体：おやコミュニケーション

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・ 4	日	思春期の特徴を学び 受講者同士の対話を 通して、子どもの問題 で悩んだ時に話せる 居場所を見つける。子 どもの自立を見守れ る親を目指す	講演会「心の扉をひらく対話力」	親業シニアインストラクター 山崎 さちこ
2	24	土		座談会「男が語る思春期」	医学博士 杉浦 和朗
3	8・ 7	土		思春期の心と身体のバランスについて	麻生区役所 保健福祉セン ター助産師 藤澤 範子
4	21	土		インターネット・ケータイから子どもを守ろう！	インターネットホットライン 森井 美穂子
5	9・ 4	土		座談会「思春期の子どもとの関わり方～思春期は 自己発見期～」	NPO 法人 くだかけ会 代表 和田 重良
6	18	土		座談会「若者と語り合おう！」①	専修大学学生
7	10・ 4	月		心と身体の発達について～子どもと性の話しをし ていますか～	藤澤 範子
8	25	月		座談会「若者と語り合おう！」②	専修大学大学院生
9	11・ 8	月		非行のサインを見つけた時に	麻生警察署 生活安全課 少年係 白井 宏一
10	22	月		子どもの自立を考えよう①	子育てカウンセラー 奥田 悦子
11	12・ 6	月		子どもの自立を考えよう②～親業から～	企画委員 松野 菜穂子

●開設場所 麻生市民館

●時 間 帯 主に 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 27人(男3人、女24人)

●延べ人数 128人

●企画委員会 17回

●企画委員 5人

麻生 暮らしの安全・安心を求めて・・・

主 題：自分の暮らしは自分で守る

●実施団体：「暮らしの安全・安心を求めて」企画委員会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・ 17	土	健康食品のウソ・ホン ト	健康食品を見極める、誇大広告に惑わされるな	東京福祉大学大学院 教授 栗原 久
2	31	土	犯罪と治安	犯罪と治安の最前線体験、振り込め詐欺対策	元警視庁 捜査第一課長 菅原 忠雄
3	8・ 21	土	地震災害	行政官として、新潟中越地震被災地の救援復旧 体験 阪神基地隊司令として阪神淡路大震災の救急・ 救援活動体験	元新潟県川口町 総務課長 鈴木 政幸 元海上自衛隊 呉地方総監 海将 仲摩 徹弥
4	9・ 4	土	健康度評価	健康度チェックシステムによる予防意識の向上	元群馬大学 教授 丸山 悠司
5	18	土	環境問題と生活	地球温暖化と私達の暮らし、川崎市の取組み	環境局地球環境推進室 担当課長 広瀬 健二
6	10・ 2	土	インターネットの安全	ネットワーク社会の課題、不安と期待	ニフティ株式会社 元常務取締役 京増 弘志
7	16	土	疾病・病氣	日常から異常を見出せ、触診によりガンの早期発見	防衛医科大学 名誉教授 吉岡 重威
8	23	土	高齢者介護と生活	介護が必要になったときにどうすべきか、ひとり で抱えず相談を	川崎市地域包括支援センター 職員

●開設場所 麻生市民館

●時 間 帯 13:30～15:30

●対 象 関心のある方

●参加者数 39人(男20人、女19人)

●延べ人数 182人

●企画委員会 8回

●企画委員 5人

岡上 岡上探険隊～あじわう～

主 題：体験を通して地域を知り愛着を持ち、地域へのかかわりを持つ

●実施団体：岡上探険隊実行委員会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・9	日	岡上の食・自然・人 地域行事についての さまざまな体験を通 し、地域の良さを知 り、愛着を持つ	オリエンテーション 旬をあじわう～岡上農家でたけのこ掘を体験する～	企画運営委員 岡上在住農家 宮野 輝夫
2	7・11	日		旬をあじわう ～岡上野菜を知り、調理する～	神奈川県ふるさとの生活技術 指導士 山田 美智子 麻生区子ども会連合会 蛭町 優
3	9・26	日		自然をあじわう ～梨子ノ木緑地を探険し、岡上の自然を知る～	親子あそび研究者・表現イ ンストラクター 篠 秀夫
4	11・27	土		自然をあじわう ～桜の落ち葉を集め、染液を取る～	NPO 法人 赤いふうせん 知的障害者・生活就労支援 地域活動支援センター工房 登戸新町 所長
5	26	日		自然をあじわう ～桜染めをする、草木染めについて知る～	名古屋 洋一
6	12・19	日		岡上の年越しを知る ～お飾り作り・お餅つきを体験～	元岡上郷土誌会会長 宮野 薫 会員 鳥海 輝治 麻生区青少年指導員 松本 弘 松澤 良一 名古屋 洋一
7	1・14	金		地域の行事に参加する…どんど焼	企画運営委員

●開設場所 岡上分館 他

●対 象 小学2年生～6年生

●企画委員会 15回

●時 間 帯 主に10:00～14:00

●参加者数 22人(男4人、女18人)

●企画委員 6人

●延べ人数 118人